

～環境と経済の好循環ビジョン（案）～



美しく健やかで豊かな環境先進国



環境をよくすることが経済を発展させ、経済の活性化が環境を改善する社会

好循環への基盤 < 環境のコストを進んで受け入れる市場 >

好循環をつくる人々

需要と資金をつくる消費者・投資家
 商品・サービス・人をつくる事業者・大学
 コミュニティをつくる行政・民間団体

好循環の実現に向けた課題

技術、インセンティブ、違法行為の取り締まり等
 環境情報の充実
 好循環を理解する人づくり

今から始められる好循環の歩み

くらしを彩る環境のわざ

< 例 >
 省エネ冷蔵庫、ハイブリッド車、ESCO

目標
 CO₂排出量：京都議定書の削減約束を達成
 グリーンコンシューマーの割合
 (2002年 31% 2025年 65%)

「もったいない」が生み出す資源

< 例 >
 住民等と協力したごみの減量化
 再生利用の技術

目標
 資源生産性 (GDP / 天然資源等投入量)
 (2010年度 約39万円/トン)
 環境保全活動に参加する人の割合
 (2025年 50%)

自然がはぐくむ心と力

< 例 >
 エコツアーなど自然とのふれあい
 自然エネルギーの活用

目標
 年に10日以上を自然の中で過ごす人の割合
 (2025年 50%)
 自然エネルギー関係の技術が日本から世界へ普及

2025年の将来像

日本の姿

【日本の経済社会】

環境にやさしい消費者が生み出す所得と雇用

資源・エネルギーの循環型社会

経済のサービス化と環境

環境にやさしい交通

環境誘発型ビジネス

目標 [85~115]兆円の市場規模
[150~230]万人の雇用創出

自然の恵みが人を呼ぶ里

エコツーリズムの発展や地域の環境ブランド化による農産品や地場製品の売上げ増により、雇用が増加

身近な自然環境に加え地球環境の保全にも熱心



52才のKさん

民宿と農業をしています。お客の送迎は低公害車、料理は家で作った有機野菜、エネルギーはバイオマスを利用しています。息子が地元に戻ってきてエコツアーのガイドを始めました。

ものづくりのわざが循環をつくる街

工業都市が環境配慮型製品の生産やリサイクル中心に

グリーン購入やごみの資源化に熱心に取り組む



35才のSさん

環境配慮型製品の製造工場のエンジニアをしています。子供の成長にあわせて家具や省エネ家電をレンタルしています。休暇は家族全員で島で過ごします。

環境の心で生まれ変わる都会

最先端の環境技術を生み出す市場として世界のトレンドを先取り

建物は太陽光発電を備え、街路樹などの緑地も増加



77才のYさん

退職金の一部で我が家をエコハウスに改装しました。貯えの一部は環境にやさしい企業の株や債権で運用しています。普段は自然再生やゴミ問題のNPOで活動しています。

途上国を旅行して、環境を良くする日本の技術が生きているのを目にしました。環境で豊かになることを目指し、技術を磨き人を育ててきた日本に生まれたことを誇りに思います。



21才のTさん

次期環境基本計画で具体的な施策を期待

環境と経済の好循環の国際的な展開

世界の姿

日本の環境技術が世界の環境保全に貢献
日本のライフスタイルがアジアの消費者にも影響
世界の環境効率性・資源生産性が向上